



NPO法人 子育て支援はぐはぐ そのままでいいよ

子どもたちをまもるためにできること ～困難な状況にいる子どもたちに寄添って～

金沢市民生委員児童委員協議会
子どもの見守り研修会

令和5年11月25日(土)

NPO法人 子育て支援はぐはぐ そのままでいいよ

水島栄美子

プロフィール

水島栄美子 (ミズシマエミコ)

NPO法人 子育て支援はぐはぐ そのままでいいよ 理事長

趣味 登山、読書、旅行、美味しいものを食べること
ここ最近気になること 日本の山の成り立ち

家族 夫、長女、長男、黒猫
現在 夫と二人暮らし

仕事 一言でいうと。。。



地域のおせっかいなおばちゃん



NPO法人立ち上げのきっかけ

2010年7月 大阪、2児置き去り死事件

1歳男児、3歳女児が大阪のマンションで餓死。
母親は子どもを放置して男と遊びまわりSNSで紹介。
ほぼ白骨化した子どもたちは猛暑の中、裸で重なる
ようにして亡くなっていた。
解剖の結果、胃の中には自分のしていたオムツが
発見された。

事件の経緯

- 2010年2月 マンションから子どもの泣き声が聞こえる
- 2010年3月 児相(児童相談所)職員訪問
- 2010年4月 児相職員訪問
- 2010年5月 子どもの誕生日を恋人と祝う様子がSNSにあがる
- 2010年6月9日 2児に最後の食事を与える
- 2010年6月25日 子どもの泣き声が途絶える
- 2010年7月29日 母親マンションに帰る
- 2010年7月30日 自首、事件発覚

参考著書 「ルポ虐待」 杉山春著

虐待に至った原因を探る

- なぜ、子どもたちは、亡くならなければならなかったのだろうか？
- どうすれば、虐待は防げたのだろうか？
- 母親はどんな生き立ちだったのか？

社会全体で子育てを支援し、子育てが楽しいと思える社会になるための環境づくりを目的として2011年に設立



虐待予防事業

- ・ 母親支援(子育て塾、はくカフェ、親支援プログラム)
- ・ 働く親支援(育休からの復帰セミナー、パパセミナー)
- ・ 夫婦支援、次世代育成事業(親子交流事業)への参画



子ども・子育て世帯包括支援事業

- ・ 居場所づくり(こども食堂、学習支援)
- ・ 子育て中の困窮家庭への支援(金沢市子ども見守り支援)
- ・ 児童養護施設の子どもたちへの支援

学習支援／子どもの夢の応援事業

はぐはぐネットワーク

はぐはぐの仲間達

公務員
小・中・高校教諭
主婦
医師
弁護士
会社経営者
フリーライター
養護教諭
公認心理士
社会福祉労務士
児童福祉司
社会福祉士
助産師
看護師・保健師
幼稚園教諭
保育士
介護福祉士

サポーター会員

いしかわ結婚・
子育て支援財団

金沢市
児童家庭相談室
福祉課

金沢市児童相談所

石川県・金沢市
社会福祉協議会

児童養護施設

金沢市母子寮

少年院

大学・高校

金沢市
教育委員会
小中学校

民生委員
主任児童委員

はぐはぐの家
ご近所さん

金沢市子ども見守
りネットワーク

学習ボランティア
食堂ボランティア

産科病院
小児科病院
精神科病院

石川県
少子化対策監室

石川県・金沢市
女性センター

親支援

父親と母親向けの 子育て塾(子育てを学ぶ)



ペアレンティングプログラム

NPプログラム・BPプログラム
オーダーメイドペアレンティングプログラム

はぐカフェ(ママの居場所)



夫婦支援

夫婦支援プログラム開発と実施



働く親支援

育休セミナー
ワーママを楽しむ会
パパセミナー



次世代育成事業

高校生と親子の交流授業

主催 (公財)いしかわ結婚・子育て支援財団



少年院での親学セミナー

女性の妊娠、出産について学び、またパートナーとのコミュニケーションや子育てを学ぶことで、将来親になり子どもを育てる準備をする

児童養護施設の子どもたちへの支援

- 寄り添い型学習ボランティア (毎週)
- 子どもたちの夢の応援事業 (随時)
 - ～大人たちが協力し合い子どもたちの小さな夢を叶える応援プロダクツ～
 - ・世界的に有名なパティシエに話を聞く
 - ・プロのバスケットボール選手にレッスンを受ける
 - ・レーシングドライバーからプロの技を見せてもらう
 - ・イルカの調教師の話を聞く
 - ・食品サンプル工場に行く
 - ・白山登山
 - ・有名なお寺の御朱印をもらいに行く
 - ・恐竜館ツアー

○卒園生の寄り添い支援



個別支援



事例1

A子さん（20代）

- 市内の民間産婦人科より、リスク妊婦として総合病院への付き添いを依頼される。
- 既に墮胎できる時期は過ぎていたが子どもは産みたくない。自殺願望が強く極めて不安定な状態。
- 相手は連絡が取れなくなっていた。実親とは、絶縁状態で連絡は取りたくない。
- 出産直前まで診察に付き合い信頼関係を作る。
- 出産にも立ち会う。

事例2

Bちゃん(小学生 低学年)

- 2年前に離婚をした母親と二人暮らし、当時仕事(パート)をしていたが賃金が低くまもなく困窮してしまう
- 毎晩遅くまで公園で一人で遊んでいたり、友人宅に入り冷蔵庫を勝手に開けて食べものを物色していた。
- はぐはぐスタッフに友人の母親から連絡が入り訪問。
- 児童相談所に連絡
- まもなく、母親は過労のため倒れ緊急入院

事例3

C君（中学生）

当時

- 乳児の時に両親が離婚、家を出て行くその後、祖父と二人暮らしたが、祖父が突然、脳梗塞で倒れ病院に入院。以降半年間以上を一人で暮らす。
- もともと困窮状態だったが、祖父の年金は母親が持っていてしまいほとんどお金がなくなる。
- 夜は友人の家を転々としていたが、食事は給食が頼り。
出会った時の所持金486円

子どもの包括的支援

様々な人や機関と連携して

困難な状況の親や子を支援

- ・寄り添い
- ・見守り
- ・助言や情報提供
- ・病院や行政窓口への付き添い
- ・学習ボランティア
- ・食材や衣料品の提供
- ・家の掃除や家事の手伝い
- ・関係機関や専門機関につなげる

・子どもに関わる人達が繋がり連携して、
子どもたちが安心して暮らせる取り組みが
必要

・子どもが住んでいる地域の中に子どもの
居場所が必要

よーぶーこどもカフェ 2018-2020

こどもが安心してゆっくりのんびり過ごせるこどもの居場所

【4つのコーナー】

遊びのコーナー

カフェコーナー

こども文庫

学習コーナー

日時 毎月第2土曜日 午前
場所 陽風園 交流ラウンジ
費用 こども 無料 大人 200円



子どもの居場所作りネットワーク会議



グループに分かれ事例検討

参加者

行政(子ども福祉、教育委員会)、小児科医師、医療ソーシャルワーカー、市会議員、児童相談所、民生委員、主任児童委員、公民館、包括支援センター、児童養護施設、保育園、助産師、学童保育、地域住民、子育て支援NPO法人、よーふーボランティアスタッフ



ワークショップで顔の見える関係になることで、連絡を取りやすくなる



この親子を支援するためにそれぞれの立場で何ができるのか

○令和2年3月

- ・**新型コロナウイルスの感染拡大**に伴い、
よーふーこどもカフェを含むすべての事業が停止

○令和2年4月

- ・こどもカフェで支援していたママが解雇される。
他家庭でも仕事の休業や時短で収入が激減する

○令和2年5月


- ・宅食支援を開始
- ・はぐはぐマーケットを開催(令和2年12月まで)
- ・取りにこれない家庭には食料を持って訪問開始

仕事になくなった～、ちょっと生活が大変～を応援します！

はぐはぐフリーマーケット

食品を無料で提供いたします

- ・対象：子育て中で生活が困窮しているご家庭
- ・日程：7/3、8/7、9/4、10/2、11/13、12/11
毎月第1または第2金曜日
- ・時間：16：30～18：00
- ・期間：12月末まで
- ・場所：はぐはぐ事務局（水島方）
- ・お問い合わせ 070-6559-9557
- ・主催 NPO法人子育て支援はぐはぐそのままがいいよ



コロナ禍に入り、2020年9月より金沢市の助成を受け 訪問型子ども見守り支援スタート

食料を携えて困窮家庭への訪問

訪問回数 月2回

ケースによっては週1回

対象 はぐはぐの要支援者＋行政からの紹介

内容 家庭訪問時の親への声かけ（アウトリーチ）
相談、子どもの見守り

親子を**見守り、寄添い、励ます**必要に応じて**金沢市児童相談所**や**児童家庭相談室**報告、関係機関に繋ぐ

見守り訪問箱詰め作業の様子



そのままこども食堂

好きな
ことして
いいよ



親も子も

誰もが**安心**して

過ごせる居場所

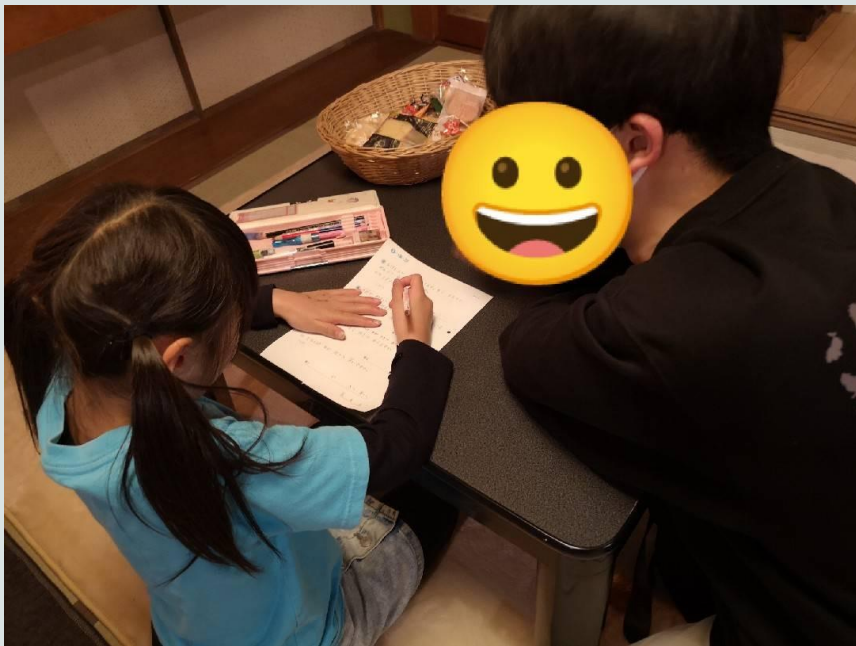
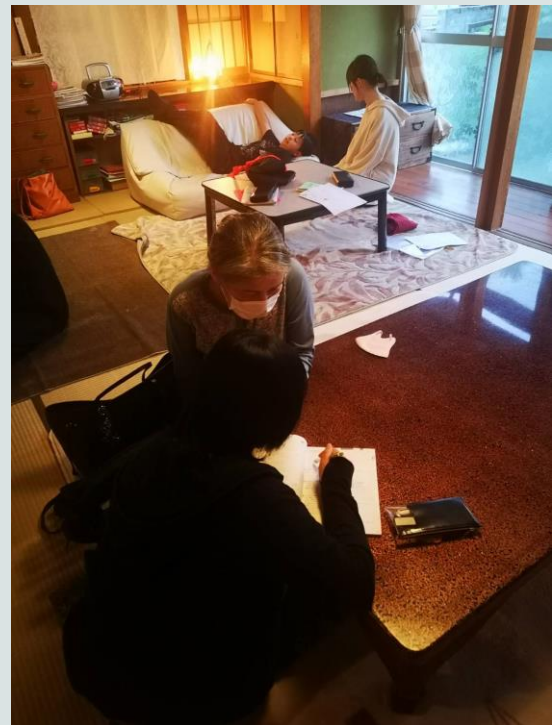


一緒に
思い切
り遊ぶ

手作りの温かい
食事をみんなで
一緒にいただきます



学習支援



勉強と一緒に進路の相談や
時には恋愛相談も

一対一で子どもの
発達特性に合わせて
じっくり教えて
います

私たちにできること

- 寄り添い
- 力づけ・励ます
- 伴走する
- 代弁する
- 手伝う
- 見守る
- 心を寄せる

各関係機関に適切につなぐこと

支援者に求められること

当事者は必ず乗り越える
力を持っている

私たち支援者はその力を信じて
サポートすることが大切

私たちが目指す 理想の寄添いボランティア像

- 良い聴き手であり、話したくないときも黙ってそばにいてくれる人
- とともに笑ったり、泣いたりしてくれる人
- 秘密を守り、信頼に値する人、偏見を盛らず、寛大な人
- 自分の限度をわきまえて、いつも生き生きと生活を楽しんでいる人



はぐはぐは、こんなことを考えています

- 自己責任論を唱える大人は未だ存在するが、困難な状態にある子どもたちは本人のせいではない
- 貧困や虐待の世代間連鎖を断ち切るために、
経済的支援、教育支援、精神的な支え、ロールモデルが必要
- 子どもの未来が生まれ育った環境によって左右されることがないように適切な支援をし、社会全体で応援する必要がある



すべての子どもが大人から慈しまれ、夢と希望を持って
成長できるような社会を皆さんと一緒に目指したいです！

ご清聴ありがとうございました

NPO法人 子育て支援はぐはぐ そのままでいいよ